



燕市立吉田北小学校

# 学校だより

令和6年9月19日  
No.5

学校だよりは、地域の皆様にも回覧板でご覧いただいています。日々の教育活動の様子を、学校ホームページ (<https://www.schoolweb.ne.jp/tsubame/yoshidakita-e>)に掲載しています。

## 今度は、みなさんの番です

校長 齊藤 カオル

34日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。家庭や地域に帰った子どもたちの姿はいかがでしたでしょうか。家庭では、子どもたちがのんびりと過ごしながらも、主体的に過ごし方を考えたり、たくさんの課題を自分なりのペースでやり遂げたりする姿が見られたことと思います。ご支援をありがとうございました。地域では、子どもたちの姿があまり見られなかったかもしれません。それでも、地域の方にお会いする機会があった子どもが少しでも挨拶等のかかわりをもつことができていると、うれしく思います。子どもたちへの温かな見守りとご支援をありがとうございました。

2学期の始業式では、パリオリンピックを例に出して子どもたちに次のように話をしました。

皆さんは、心に残る選手はいますか。私は、二人います。一人は、堀米雄人選手です。スケートボードの選手です。・・・(途中略)ところが、堀米選手は、決して諦めませんでした。「諦めなければ金メダルがとれるかもしれない。」と、「1%の可能性を信じて、あえて難しい技に挑戦した。」と語っています。そうしたところ、見事逆転優勝をすることができました。堀米選手は、「うれしいし、信じられない。みんなが応援してくれたことが成功に繋がった。」と感想を述べていました。

・・・(途中略)もう一人は、橋本大輝選手です。この選手は、体操の選手で、金メダルがとれると期待されていました。・・・(途中略)しかし、最後の団体競技の鉄棒では、菅選手から、「絶対に諦めるなよ。いけるから。」と励まされて、見事着地を決めました。橋本選手のすごいところは、それだけではありません。着地が決まって、会場が盛り上がりつつある中、次に演技をする中国の選手を気遣って、観客に「静かに。」のジェスチャーを見せたのです。・・・(途中略)

今度は、みなさんが頑張る番です。夢や目標に向かって、ねばり強くチャレンジしてほしいと思います。まずは、どういう自分になりたいのか、なりたい自分を決めて、チャレンジを続けていきましょう。

学校と家庭とで連携し、子どもたちを温かく励まして、子どもたちの心にやる気を育てていきたいと願っています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

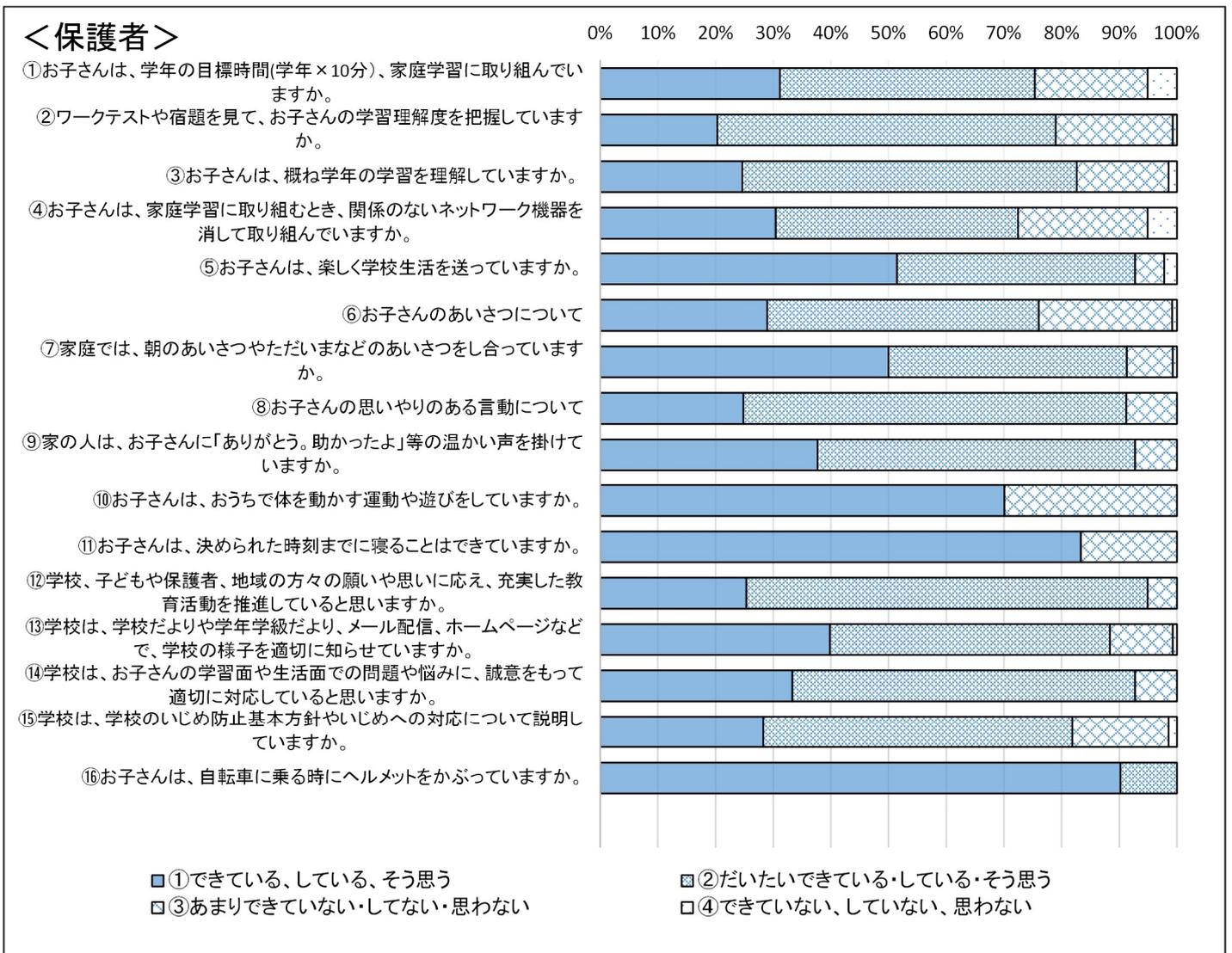
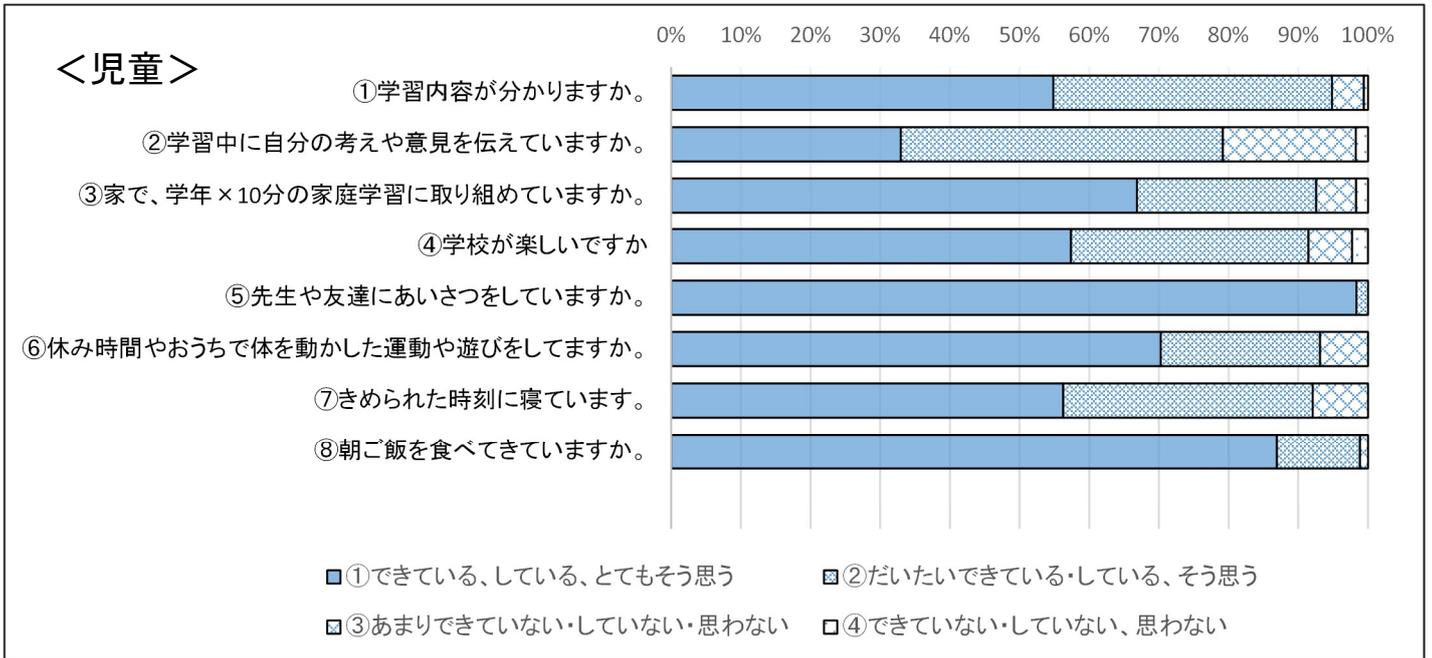
教室の廊下には、夏休み中に子どもたちが頑張って取り組んだ自由研究や自由工作・絵画等の作品がたくさん展示されました。どの子どもたちの作品からも、頑張って取り組んだ様子や気持ち、楽しかった夏休みの思い出が伝わってきました。これもたくさんの支援をいただいた保護者の皆様やご家族の皆様のお陰です。ありがとうございました。子どもたちにとって一生忘れられない思い出の一つになっていると感じます。



# ご協力をありがとうございました ~1学期の学校評価より~

7月に1学期間の学校や家庭の様子について、子どもたちや保護者の皆様からアンケートにご協力をいただきました。その結果についてお知らせします。

## <アンケート結果一覧>



以下、子どもと保護者のアンケートで関連性のある項目を比較してみました。

	質問	肯定的評価	
		児童	保護者
知育	学習内容の理解	94.9	82.6
	家で学年×10分の家庭学習の時間の確保	92.8	75.4
徳	学校生活の充実度	91.5	92.8
	あいさつの実践	94.9	79.0
体	週3日以上体を動かした運動や遊びの時間の確保	70.3	61
	週4日以上決められた時刻での就寝	56.3	83.3

### <知育の比較から>

2つの項目とも大きな差が生じました。

保護者の皆様からは約8割のご家庭で子どもたちのワークテストや宿題の取組状況から子どもたちの学習の様子を見ていただいています。子どもたちの中には、「分かった（分かっている）つもり」「やっている（やった）つもり」といった気持ちが自己評価に表れていることも考えられます。現行の学習指導は知識や技能の習得だけをめざすのではなく、思考力・判断力・表現力の向上も求められています。学校では、今後も基礎基本の定着と合わせて、思考力・判断力・表現力の向上を目標に、ICTを活用したり、掲示物等を活用したりして日々の授業を工夫していきます。

家庭学習の時間についても、子どもと保護者で差がありました。学校では担任から出す課題の他に、自分の弱点を克服したり、興味関心のある内容を探究したりする自主学習も家庭学習として奨励しています。家庭での学習習慣が定着するよう引き続き子どもたちに働き掛けていきます。

### <徳育の比較から>

保護者の皆様が子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちがどんなふうに学校生活を送っているかを理解してくださっていることがアンケートの結果から分かりました。ありがとうございます。あいさつに関しては、毎朝、青空運営委員会が中心となって児童玄関で声を掛けています。2学期、学級や全校であいさつ運動に取り組み、あいさつの輪を広げていきます。

### <体育の比較から>

子どもの自己評価が知・徳と比較すると低い評価となっています。

体を動かす時間の確保に関しては、メディアを使用する心のコントロールが課題と考えられます。ゲームをはじめ、スマホやタブレット、通信機能付きゲーム機を使ってYouTube等の動画を見たり、SNS等を使って会話をしたりしていると思います。やること自体は間違っていないのですが、要は、そこに家庭でのルールがあるかどうかです。

就寝時刻に関しては、子どもの自己評価が保護者よりも低い結果となりました。自分の部屋がある子どもたちは、「お休み」と言って部屋に入っても、眠気がなく起きているかもしれません。

体を動かす時間の確保と就寝時刻の関係は皆無ではありません。マラソン大会が2学期に控えています。そのための練習も始まります。体育等の時間に、運動と睡眠の関係についても子どもたちに指導していきたいと思います。

### <自由記述から>

#### 1. いじめや対人トラブルについて

複数の子どもたちが一つの教室で過ごしていますので、子ども同士のトラブルはあって当たり前

です。そんなとき、職員は両者の話をよく聞くことを心掛けています。そして、いじめ事案や生徒指導事案では、必ず両者の家庭にも連絡をして、出来事や指導内容をお伝えしています。学校では、両者の子どもの気持ちに寄り添った丁寧な指導を一層努めてまいります。保護者の皆様もお子さんが友達のことでは何か訴えてきた場合には、お子さんの言い分だけで事の判断をせず、学校にご相談ください。よろしくお願いいたします。

## 2. 水泳の授業日について

水泳の授業日につきましては、教育委員会が公共施設の利用を希望する学校の要望を取りまとめ、期日を決めています。ご承知おきください。

## 3. 登山や遠足等の行事について

コロナ禍がある程度落ち着き、世間ではコロナ禍前の情勢に戻ってきました。コロナ禍を機にこれまでの行事を見直し、改善や規模縮小、または廃止をしてここ数年行事を行っています。そのような中、登山や遠足の実施を望む保護者の皆様の声を聞きます。しかし、実施に至っては学校職員だけではかきません。多くの保護者の皆様の協力が必要となります。子どもの減少に伴い、保護者数も減少しています。マラソン大会や水泳の監視ボランティア等減少している実態を見ると、簡単に実施の決断をするに及びません。

その他、熱中症対策や宿題、学級でのルール作り等のご意見をいただきました。2学期以降の教育活動の中で検討・改善を図ってまいります。

また、子どもたちの見取りに関して、「安心して学校へ送り出すことができます」「子どもが毎日楽しく通っています」「欠席した時には連絡をくださることに感謝します」等とうれしいご意見も多数いただきました。我々職員の日々の取組を評価していただき、誠にありがとうございます。

### 入賞おめでとう 燕市民水泳大会

5・6年男子 50m平泳 第3位 荻原 さん 5・6年女子 50mバタフライ 第1位 片山 さん

5・6年女子 100mバタフライ 第1位 片山 さん (大会新記録 1分11秒54)

5・6年女子背泳 第4位 丸山 さん 3・4年女子 50mバタフライ 第3位 丸山 さん



- 1日(火) 就学時健診 3時間下校
- 2日(水) 低学年水泳 クラブ
- 3日(木) 高学年水泳 6年生小中交流会
- 5日(土) PTAガラス拭き作業
- 7日(月) ランランタイム①開始 (11日まで)
- 8日(火) 6年生校外学習 (和島)  
PTA会長団会議 諸費振替日
- 9日(水) 読み聞かせボランティア  
放課後学習
- 10日(木) 街頭指導 ファミリー遊ぼうDay
- 11日(金) 5年生ミニ運動会
- 15日(火) ステージ練習開始

- 16日(水) 委員会
- 17日(木) 全校集会
- 23日(水) B時程①
- 25日(金) 文化祭前日準備
- 26日(土) 文化祭・学習発表会
- 28日(月) 振替休業日
- 29日(火) 5限まで月曜授業  
ランランタイム②開始 (31日まで)
- 30日(水) クラブ
- 31日(木) ファミリー対抗ドッジボール大会

